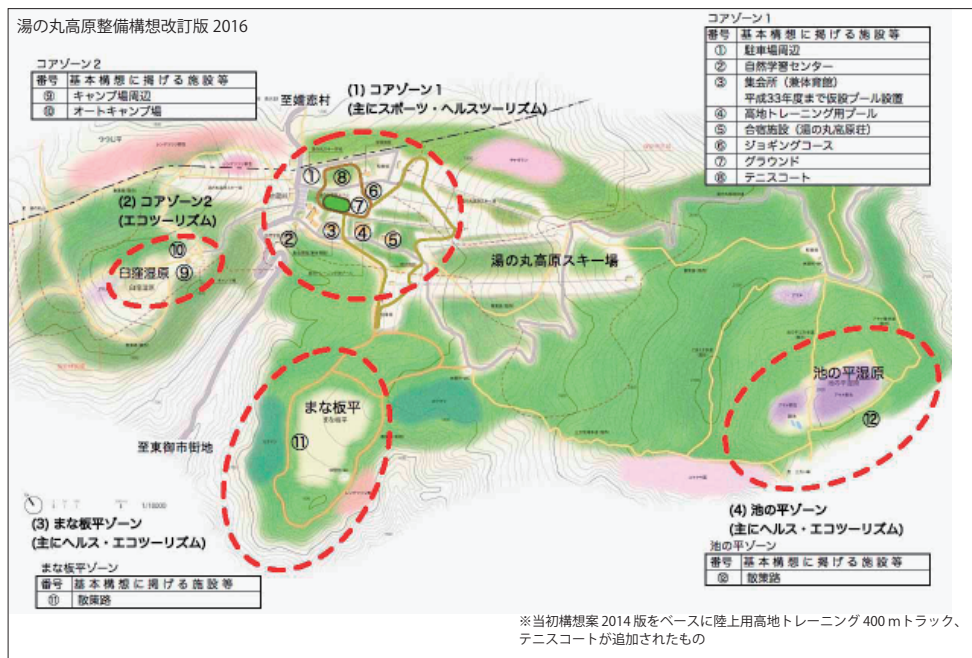


東御市の北端、標高 1750 m級の湯の丸高原は上信越国立公園内の自然豊かなレクリエーション地として大学の寮や宿泊施設が立地して来たが、近年のスキー客減少とともに寮の廃止が続くなど多くの課題を抱えてきた。そこで隣接する小諸市、群馬県嬭恋村と共同でスポーツ振興のための準高地トレーニング施設整備を進めるべく、2014 年に湯の丸高原一帯（東御市範囲）の基本構想策定プロポーザルでアブルが特定。全体構想からの策定から、専門家からなる高地トレーニング施設委員会、構想の改訂、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて「湯の丸からセンターボールに日の丸を！」のスローガンのもとで新規屋内体育施設（暫定屋内プール）および隣接地への民間出資によるアスリート食堂の基本計画をまとめ、両施設の設計監理を担当した。あわせて大学寮跡建物の改修提案（アドバイザー派遣—完成）も行った。



湯の丸高原位置図



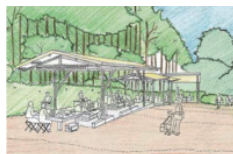
構想イメージスケッチの一部



自然学習センター休憩テラス



アクセス路改修（待避所）



共同炊事場改修



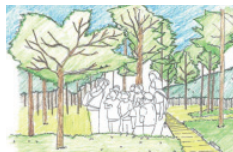
バンガロー改修、デッキ敷設



高地トレーニング用屋内プール（内観）



合宿所（旧大学寮改修・湯の丸高原荘）



散策路（ネイチャーガイド）



散策路（トレイルラン）

経緯 湯の丸高原整備構想策定業務公募型プロポーザル（特定）14.10 / 湯の丸高原整備構想策定業務'14.11 ~ 15.3 / 湯の丸高原高地トレーニング検討委員会
助言（アドバイザー派遣）'15.6 / （仮称）湯の丸高原荘改修基本構想（アドバイザー派遣）'15.9 / 湯の丸高原屋内運動施設建設工事設計業務'17.10 ~ 18.3 /
同工事監理業務 18.4 ~ 19.10 / 湯の丸アスリート食堂設計監理業務'19.2 ~ 19.9 [湯の丸スポーツサービス（株）] 担当：中野、清水、大木、光賀